

実施計画兼評価シート(令和元年度事業分)

事業No.119

【計画ベース】

◎基本情報

事業区分	新規	事務事業名	応急手当普及啓発事業	担当部署	消防本部 予防課			
総合計画体系				根拠法令 計画など	総務省消防庁「応急手当の普及啓発活動の推進に関する実施要綱」			
基本政策(大項目)	3	しっかり安心・快適住み良いまちづくり		事業 期間	開始	令和	元 年度	
政策(中項目)	1	安心して暮らせるまち なんと				終期	未定	
(小項目)								
施策	3	救急救助・医療体制の充実						
基本事業	3	応急手当の普及啓発活動の充実						
<input checked="" type="checkbox"/> 第六次総合計画後期基本計画の成長戦略に該当の有無 <input type="checkbox"/> 次期総合戦略掲載予定の有無 <input type="checkbox"/> SRP2020該当の有無								
<input checked="" type="checkbox"/> ふるさと納税寄附金等要求 <input type="checkbox"/> ポートレース鳴門まちづくり基金活用予算要求								

◎事業概要(PLAN)

目的	将来ある子どもの救命環境を整備するため、救命に最も効果的とされる心肺蘇生教育の普及啓発を充実させ、児童の救命率向上に繋げることを目的とする。		事業 内容 (R1)	①児童を受講対象とした心肺蘇生講習会の実施 ②児童を受講対象とした救命入門コースの実施 ③成人を受講対象とした小児に対する心肺蘇生講習会の実施 ④成人を受講対象とした普通救命講習Ⅲの実施				
実施方針	児童を対象とした心肺蘇生講習会に加え、令和元年度から新設した救命入門コースを活用し、心肺停止傷病者への応急手当実施率の向上に繋げる。		当初 から の 変更点					
指標名			平成29年度実績	平成30年度実績見込	令和元年度目標	令和2年度目標	令和3年度目標	単位
活動指標 <small>実施した事業の活動量を示す指標</small>	1	講習会受講者数	311	325	350	400	450	名
	2							
指標名			平成29年度実績	平成30年度実績見込	令和元年度目標	令和2年度目標	令和3年度目標	単位
成果指標 <small>対象にどのような効果があったか示す指標</small>	小児以下の年齢層に対する応急手当実施率		100	該当なし	100	100	100	%

事業の 実施内容 推移	年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
	各年度の実施(予定)内容	心肺蘇生講習会	心肺蘇生講習会	①心肺蘇生講習会 ②救命入門コース ③普通救命講習Ⅲ	①心肺蘇生講習会 ②救命入門コース ③普通救命講習Ⅲ	①心肺蘇生講習会 ②救命入門コース ③普通救命講習Ⅲ
事業費推移 (千円)	年度	令和元年度			令和2年度	令和3年度
	計	当初予算額	補正予算額・繰越額等	全体予算額	未定	未定
		1,602	0	1,602	未定	未定

事務事業名	応急手当普及啓発事業
-------	------------

【実績ベース】

◎実施結果(DO)

事業 実施 内容	令和元年度実施内容	小学校等での児童を対象とした心肺蘇生講習会の実施(3回、154名)
		小学校等での児童を対象とした救命入門コースの実施(1回、44名)
		成人による小児を対象とした心肺蘇生講習会の実施(7回、146名)
		成人による小児を対象とした普通救命講習Ⅲの実施(1回、21名)

指標名		平成30年度実績	令和元年度実績	令和2年度目標	令和3年度目標	令和4年度目標	単位
活動指標 <small>実施した事業の活動量を示す指標</small>	1 講習会受講者数	325	365	400	450	500	名
	2						
成果指標 <small>対象にどのような効果があつたか示す指標</small>	小児以下の年齢層に対する応急手当実施率	該当なし	67	100	100	100	%
	目標達成率(実績/目標)		66.7				%

事業費推移 (円)	年度	平成30年度決算	令和元年度決算			
			前年度からの繰越決算額	決算額	令和2年度への繰越額	最終事業費
	計		0	1,018,820	0	1,018,820
財源内訳	国庫支出金		0	0	0	0
	県支出金		0	0	0	0
	地方債		0	0	0	0
	使用料・手数料		0	0	0	0
	その他		0	820,800	0	820,800
	一般財源		0	198,020	0	198,020

◎評価(CHECK)

今年度の進捗状況		計画どおり		事業全体の進捗状況		計画どおり	
成果指標に対する評価	指標名	小児以下の年齢層に対する応急手当実施率		成果指標に対する所見	小児傷病者の心肺停止事案で応急手当がなされたが、目標の100%には至らなかった。		
	目標	100	%				
	実績	67	%				
	評価	B:概ね目標を達成できた					

◎今後の方向性(ACTION)

課題	応急手当講習の受講者数は増加しているが、まだ小児以下の年齢層への応急手当実施率には結びついていない。今後も講習受講者を増加させ、応急手当実施率100%を目指す必要がある。				
今後の方向性	1.廃止	2.要改善	3.現状維持	4.拡充	3

↓今後の方向性を踏まえた上で、以下の欄に記入してください。

実施内容	令和2年度	今年度は新型コロナウイルスの影響で講習会が実施できていないが、継続的な講習会の実施が必要である。
	令和3年度	継続的に講習会を実施